

令和5年度 2学期始業式 校長講話

1) 今日のテーマ

おはようございます、今日から2学期、そして9月になりました。2学期の始まりに当たり、今日は「伝え合い」というテーマでお話をします。

1学期の始業式で、私はこんな話をしました。私の夢は「3つのあい」のある学校を作ることです、「3つのあい」、それは、「認め合い」、「伝え合い」、「学び合い」のことです、と話しました。今日はその3つのうちの「伝え合い」についてお話しします。

2) サクラの生徒のいい話

まずは、サクラの生徒のいい話、です。8月の上旬に、本校に、地域にお住いの高齢の、70代後半の女性のかたから、感謝のお電話をいただきました。

8月1日、その日は天気が急変し、学校周辺で、雷が鳴ってひょうが降り、大雨となった日でした。みなさんも覚えているでしょうか。電話をくださったかたは、その8月1日、学校近くの大泉町4丁目のバス停で、大雨の中うずくまってバスを待っていたそうです。そこに、本校の女子生徒二人が、駆け寄ってきて、近くの交番まで連れて行ってきて、雨宿りをすることができました。

そのことについて、お電話をいただき、そのかたは「今までの人生、生きてきた中でも、こんなにありがたいことはそうなかった。女子生徒の顔も覚えていないが、ぜひお礼を言いたくて学校に電話をした。今までバスを待っているときも、大泉桜の生徒でいやな思いをしたことがない。大泉桜高校は素晴らしい学校だと思っている。」とおっしゃったそうです。

この内容を先生方に伝えたところ、その話の生徒は、本校1年生の女子二人であることがわかったので、先日校長室に来てもらい私から話をしました。今日、始業式で名前を出すのはやめてほしいとのことでしたので、名前は出しませんが、とても立派な行動だったと私は思います。

あの大雨の中、自分が帰るだけでも大変だったろうと思うのですが、その中で二人で協力して他人をいたわる行動がとれたこと、素晴らしいと思います。声をかけるのも勇気がいったことでしょう。まずはこの二人の行動をたたえます。そして私はこの話を聞いて、うれしく思いました。

3) 伝えあいとは

このように、自分の思いを伝える、ということは他人を助け、さらに良い関係を築くことにもつながります。

1学期に、美術の授業を見ました。ビジュアルデザインの授業でしたが、作品の評価をする時間がありました。自分の作品について言葉で説明し、見ていた他の人も作品の評価をする、という授業でした。他にも、国語や公民の授業などで、グループ活動でお互いの意見を言い合う場面がありました。

自分の意見や思いを言葉で伝え、お互いを高めあう、これが「伝えあい」であり、私の理想とする学校の姿です。そして、自分の思いをきちんと言葉で伝えあうことが

できる、その力や心をもっているのがサクラの生徒のいいところだと、私は考えています。

4) 文化祭での伝え合い

さて、2学期は大きな行事として文化祭があり、他にも2年生は修学旅行、そして3年生はいよいよ進路決定の時期が迫ってきます。そういった活動を通して、自分のことを伝える機会が多くなります。

文化祭では、連絡ミスが、不具合や失敗の元になってしまいます。きちんと伝えることについて、よく「ほうれんそうをしっかりととりましょう」と言われますが、聞いたことはありますか。ほうれんそう、つまり「報告・連絡・相談」を心がけましょう。

そして、自分の体調についての「報告・連絡・相談」をしっかりとしてください。1学期に「コンディションレポート」を使って、みなさんの体調を入力してもらいました。2学期もそれは続けます。特に、秋桜祭を前に、コンディションレポートでみなさんの健康状況を伝えてください。みなさんの体調のレポートがうまく伝わらなくて、感染症が拡大し、秋桜祭前に学級閉鎖や学年閉鎖になってしまったり、場合によっては秋桜祭が臨時休業で中止になってしまったり、秋桜祭でお客さんにも感染が拡大してしまったり、ということは、絶対に避けなければなりません。そのためにも、「体調の伝えあい」も重く受け止めてください。

5) 結びに

2学期は、夏に始まり冬に終わる、季節の変化もあり、文化祭など大きな学校行事もあり、盛りだくさんの時期です。また、学習も一段と進んでいきます。行事や授業を通して、1学期に出会った友達と、より一層仲が深まっていくのが2学期ではないでしょうか。言葉で、あるいは美術の作品や音楽、ダンスなどの表現などでも、お互いの気持ちを伝えあい、お互いを励まし、高めていきましょう。

6) 振り返り

さて、今日もスライドで振り返ってみましょう。今日の私の話のテーマは、何だったのでしょうか？最初のスライドを覚えていますか？

私も、今日は話で思いを伝えました。また、コンディションレポートや Classi の欠席連絡は毎日見えています。私も、サクラに学ぶ一員として皆さんと思いを伝えあっていきたいと考えています。では、私の話を終わります。